

Kamu Kamu News

カムカム・ニュース

2018.08 vol.66

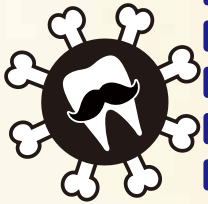


先月7月25日
ヨリタ歯科クリニックで
カムカムサマーフェスタが
開催されました！

今年のカムカムフェスタのテーマは
『ワクワク海賊団』でした！

4つの海賊団による、楽しい歯の健康学習
新人スタッフ中心に熱演した劇『ワンティース』
Qちゃんの楽しいパフォーマンス
等々…

歯の大切さを学ぶ、楽しい内容が盛り沢山！！
暑い中ご参加下さった皆様、ありがとう
ございました！



次回のカムカム
フェスタは、冬に
開催する予定です♪
お楽しみに！

歯の構造を知ろう①

こんにちは、ヨリタ歯科クリニックの副院長、入江です。

みなさん自身の歯について
これから数回にわたり、書いていきたいと思います。

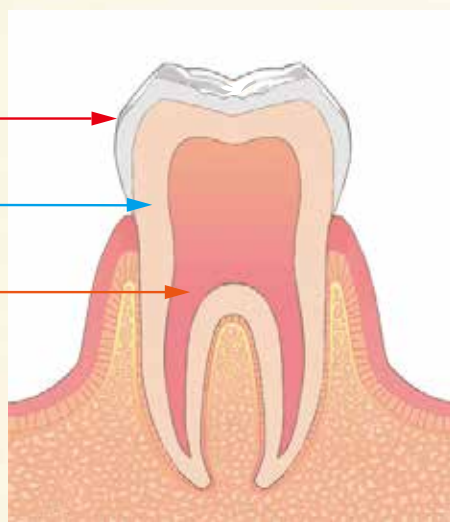
歯の構造は、どうなっているのでしょうか？
みなさんのイメージは歯は硬い、カルシウム、中に神経がある
こういった感じでは、ないでしょうか？

実は歯は大きく分けて、3層構造になっています。

① エナメル質

② 象牙質

③ 歯の神経



小さい歯でも複雑に分かれていて、それぞれが機能を果たしています。
このそれぞれについて、複数回に分けて書いていきたいと思います。

昔に比べて、みなさんのお口への関心はかなり上がってきています。
歯科界が掲げている、8020運動（80歳で20本の歯を残す）

その達成率は38.3%に達しており、これから
まだまだ上昇すると思われます。

より健康になっていくために、僕たちの知識が少しでも
みなさんのお役に立てればと思います。

まずは、①エナメル質について書いていきたいと思います。

エナメル質は実は人間の中で、最も硬い組織です。

骨よりも硬く、歯にとっての最強の鎧でもあります。
とても硬い組織で、その主成分はハイドロキシアパタイトという
石灰化物から、成り立っています。

歯を削ると痛い！というイメージ、皆さんお持ちだと思います。

ただ、実はこのエナメル質には、神経が通っていません。エナメル質を歯を削ったり、虫歯になったとしても痛むことはありません。他の体の部分で言えば、爪をイメージしてもらおうと、わかりやすいかもしれませんね。爪切りをしても何も感じないように、エナメル質も鎧なので、何も感じません。

ではこのエナメル質、硬い以外にこういった特徴があるのでしょうか。

歯にとっての鎧なので、虫歯に対しての抵抗力も、歯の他の部分に比べて、強いです。

歯は虫歯菌が作る酸によって、歯が溶けてしまいます。この酸が強くなると歯が溶けていき、これを脱灰と言います。また逆に唾液の力などで、わずかに脱灰を修復することもできます。この現象を、再石灰化と言います。

口の中では、この脱灰と再石灰化が常に繰り返しておこっています。エナメル質はこの酸の力に対しての抵抗力が強く、溶けにくいです。

なので、エナメル質の鎧があるうちは、なかなか虫歯は進みません。虫歯がエナメル質にあるうちは、治療の対象にならないこともあります。ところが、この鎧を突破されてしまい象牙質に虫歯が達すると、進行は急に進みます。

歯にとっての鎧、エナメル質はとても大切なんですね！

ところがこのエナメル質、実はエナメル質は歯の上半分しか、覆っていません。

歯周病などで、歯茎が下がってしまうと、エナメル質のない部分が見えてきます。そうすると、その部分がしみて、知覚過敏が、生じたりします。昔はしみなかったのに、最近しみていきたという方はそのせいかもしれませんね。

エナメル質はとても硬いですが、経年的に変化していきます。お口の中の歯は、毎日噛む力がかかります。そういう方は歯にクラックと言って、細い亀裂が入ることがあります。

亀裂が入ってしまうと、虫歯にとっては住処となります。歯ぎしりが強い方や、歯に亀裂が入っている方は少し注意してください。

さて、今回は歯の最強の鎧、エナメル質について書きました。エナメル質を守ることがどれだけ大切か、皆さんに少しでも伝わっていただければいいなと思います。

歯の構造を知って、歯の健康と予防歯科の大切さを学ぼう！

ばど 大阪東版 2017年10月27日号
『ワクワク楽しい予防歯科ってなあに vol.147』
より抜粋。

歯科医師・副院長

入江裕介先生